

平成25年第3回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 8月16日 8:30	1	東京多摩国体の準備状況について	① 大会会場と、会場周辺の準備状況について ② おもてなし事業全般についての取り組み状況について ③ 市内事業者との連携はどのようになっているのか。 ④ 大会期間中「東大和市」の魅力をどのようにPRしていくのか。
	2	防災対策・防災教育について	① 今年度の総合防災訓練の内容と特色について ② 災害時要援護者対策の進捗状況について ③ 災害時のために必要な新たな井戸の新設工事実施について ④ 被災地への小中学校での修学旅行についての検討について
	3	ごみの有料化について	① 市民説明会を受けての今後の対応・対策について
	4	湖畔地区の高齢化に対応するための行政サービスの充実と、交通不便対応と対策について	① 様々な行政サービスにおける今後の対応と対策について
2. 根岸 聡彦 8月16日 8:30	1	東大和市の下水道事業について	① 東大和市下水道事業経営健全化計画について ア 計画が目指すものは イ 現時点での進捗状況は ② 下水道管の維持管理について ア 本管・取り付け管、それぞれの管理方法は イ 各管のメンテナンス手法は ③ 下水道管の老朽化対策について ア 現状に対する認識は イ 今後の対策とスケジュールは
	2	コミュニティバスについて	① ちょこバスの現状について ア 市としての認識は イ 現時点での課題は ② ちょこバスに対する市の取り組みについて ア 地域公共交通会議の進捗状況は イ 先に開催された市民との懇談会における総括は ウ 市民の意識に対する認識は エ 市が目指すちょこバスのあるべき姿は
	3	東大和市学校教育振興基本計画について	① 先に開催された説明会について ア その総括は イ 市民の意識に対する認識は ② 学校教育振興基本計画の策定について ア 基本計画策定に至った背景は イ 基本計画の目的とするところは ウ 今後の具体的な取り組みは

3.床鍋 義博 8月16日 8:30	1	ゴミ政策について	① 3市共同資源物処理施設について ② 家庭系廃棄物有料化方針について
	2	街づくりについて	桜が丘地域は、実質上、東大和市内でも人口密度が高い住宅地であるにも関わらず、用途地域が工業地域のままであり、その弊害が出ている。現在の状況と、その対応、今後の予定について
	3	防災計画について	① 東大和市地域防災計画について ② 高層マンションに対する防災計画について
4.中野志乃夫 8月16日 9:02	1	産業振興課のあり方について	① 商工観光係の役割と意義についてどのように考えているか。 ② 商工観光係を統括する産業振興課の位置づけはどうか。 ③ その産業振興課は何故、環境部に入っているのか。
	2	武蔵村山市の昭和病院組合脱退意向問題について	① 意向表明通り脱退した場合の影響をどのように考えているか。 ② 昭和病院加盟自治体内での医療圏の違いをどのように考えているか。
5.西川 洋一 8月16日 12:40	1	平和問題について	① 米太平洋空軍の司令官が、空軍仕様のCV22オスプレイの有力な配備候補先として、横田基地を挙げたとの報道がされました。横田基地周辺市町基地対策連絡会は、直ちに、横田基地への配備検討の撤回を求め、政府に要請行動を行っています。東大和市は横田基地の間近にあります。市の対策について伺います。 ② 広島、長崎に原爆が投下されてから、今年で68周年となりました。核兵器廃絶に向かって、市としての積極的な対策を行うよう求め、質問します。 ③ 憲法を守るために、市長が率先した行動をとることが今必要ではないでしょうか。伺います。
	2	ちょこバスの利便性の向上について	市は地域公共交通会議を設置して、利便性の向上等に向けた協議を始めています。 ① 利便性の向上の目標をどこに置いていますか。 ② 費用負担はどの程度を見込んでいるのでしょうか。
	3	太陽光発電等自然再生エネルギー利用機器等設置に助成を	原発からの脱却めざし、自然再生エネルギー施策への転換が国政において求められています。東大和市としても積極的に推進するべきではありませんか。太陽光発電をはじめ自然再生エネルギー利用機器等設置に対する助成制度を直ちに行うべきですがどうですか。 これまで、原発に換わるエネルギーとしての自然再生エネルギーの必要性と可能性、東大和市の産業振興の観点からその必要性などについて、質問してきました。市もその必要性を認めているところですが、また、総合計画などの市の方針の中にも自然エネルギーの活用の推進をうたっています。にもかかわら

			ず、なかなか助成制度の創設へ進めないのはなにが問題なのですか。伺います。
6. 実川 圭子 8月21日 10:21	1	多世代が集える居場所づくりについて	① 現在、市内には市民が気軽に集える居場所（コミュニティサロン）としてどのようなものがあるか。 ② 居場所の必要性をどのように考えているか。また、運営体制や地域（場所）などについてどのように考えているか。 ③ 市内に広めるための施策は
	2	（仮称）総合福祉センターについて	① （仮称）総合福祉センターの役割について ② 市民への説明と今後のスケジュールについて ③ 運営協議会などの設置について
	3	緑のボランティア制度について	① 現在のボランティアの登録及び活動状況について ② ボランティア間の情報交換、連携、活動拠点等について ③ 花いっぱい運動を進めるための、推奨花を決めることについて
7. 御殿谷一彦 8月21日 10:55	1	健康診断受診率向上への取り組みについて	① 国民健康保険医療費の現状と増加の原因 ② 健康診断受診の現状 ③ 人間ドックと特定健診の最適な配分 ④ 受診率向上策 ア 保健指導への誘導 イ 積極的な情報発信 ⑤ 「健康マイレージ」への取り組み ア 健診、健康イベント参加等にポイント付与等のインセンティブを設ける
	2	駅前駐輪場対策について	① 「総合計画」の進捗状況 ア 平成25年3月調査から見えてきたもの ② 現状の駐輪場対応費用 ア 市民負担の適正化 ③ 民間駐輪場への影響 ④ 利用者が真に求める駐輪場の早期の設置 ア 利便性に対する受益者負担を考慮した対応
8. 関田 貢 8月22日 9:02	1	公立昭和病院について	① 2003年、二次保健医療圏に基幹型保健所が1カ所になり、公立昭和病院の位置する北多摩北部医療圏の5市、人口は70万7,319人になり、東大和市は公立昭和病院組合を脱退して、他の北多摩西部医療圏の5市と一緒に、市民の医療サービス向上に努力していくべきではないか。 ② 公立昭和病院の経営については、民間委託等を検討されたことがあるのか、東大和市からは1億285万9千円の負担金をだしての参加については、病院の位置は遠く、市民の受診率も低く、急性期高度機能病院は、医療圏内にも国立立川災害医療センターと国立病院村山医療センターを初め、市内にも社会医療法人となった東大和病院等があるのに、組合負担金をだしてまでの魅力はどこにあるのか。

	2	休日急患診療所について	<p>③ 市民が公立昭和病院を利用されている実態について、月平均では当市の入院と外来は何人で比率は</p> <p>① 市民医療ニーズから見ても、市の中心にある診療所まで行って見ていただく施設が必要なのかどうかについて、昭和50年3月31日に設置された目的は終わったのではないかと。</p> <p>② 地域の診療所と当番制又は輪番制での実施についてとか、東大和病院への移管等、色々提案して来たが、いまだに実現できない理由はなんなのか。</p>
	3	所有地を活用したまちづくりについて	<p>① 東大和市向原地区プロジェクトについて、北区域（約1.8ha）と南区域（約2.7ha）については、平成23年度事業者決定として工事着手になっている事業についてはどのような状況なのか。</p> <p>② 都営東京街道団地道路工事（その3）が終了し、跡地利用については、どのような区域に決定され、地域利用が出来るようになるのか、今後の見通しについて</p>
	4	雨水対策について	<p>① 向原地区（鎌田ビル前）、桜街道（野火止附近）、大和通りから南街交番附近のマンホールの蓋より逆流している所が見受けられる。このような状況に対する対策・効果について</p> <p>② 急激な都市化により、降雨に対する流域の貯留・浸透機能が減少し、一挙に大量の雨水が流出しやすくなったことで、台風や集中豪雨時に多くの水害を受けています。この対策について</p>
<p>9.東口 正美 8月22日 9:05</p>	1	小型家電リサイクル法について	<p>① 平成25年4月から施行された「小型家電リサイクル法」に対する東大和市の取り組みについて伺います。</p> <p>ア 「小型家電リサイクル法」で求められている市の役割はなんですか。</p> <p>イ 実施に向けて収集方法や回収品目など具体的な検討をされていますか。</p> <p>ウ 実施にあたり課題はなんですか。</p> <p>② 回収された小型家電の分解・分別作業を市の福祉事業所に依頼し障がい者の就労の機会とするなど、地域福祉の向上につなげている自治体もありますが、東大和市としてもこのような取り組みが出来ますか。</p>
	2	きよはら児童館について	<p>① きよはら児童館開設当時と、現在の利用状況にはどのような違いがありますか。</p> <p>ア 学校保育所第三クラブ、第六クラブの定員と利用者数</p> <p>イ 東京街道団地内の子育て世帯数や子育て環境</p> <p>② 東京街道団地建て替えの状況とあわせて、今後のきよはら児童館について、市としてどのように考えをお持ちですか。</p>

	3	日本女子フルマラソン開催記念事業について	<p>① 来年3月多摩湖駅伝大会の時に行われる記念碑除幕事業についてお聞きます。 ア 現在までに決まっていること イ 今後の予定、検討課題について</p> <p>② 記念事業としてフルマラソン大会を開催できますか。</p>
10. 和地 仁美 8月22日 10:49	1	障害者総合支援法の対象サービスについて	<p>① 障害者総合支援法による各種サービスの対象者が介護保険制度の対象年齢になった場合について ア 現状は イ 課題は ウ 当市における課題への対応は</p>
	2	自治会について	<p>① 当市における自治会の位置づけ、重要度について</p> <p>② 市では平成17年度に、市と自治会が協力し「自治会活性化への取組み」報告書を作成し、これに基づき様々な活動を行ってきたとホームページ上で公表されている。 ア 取組みのポイント、具体例とその効果は イ 報告書作成から5年以上が経過しているが、今後、課題の見直し、次の段階への取組みに移行するなどの予定はあるか。</p> <p>③ 今後の課題と市が考える自治会のあり方実現のための方策について</p>
11. 押本 修 8月23日 8:30	1	学童保育について	<p>① 今年度より桜が丘クラブを開所させ、待機児童数を減らす努力をされているところでありますが、今後についての考えを伺います。 ア 待機児童数の現状 イ これまでの対応 ウ 今後の課題</p>
	2	市営住宅について	<p>① 市営住宅が空き家になり、建物が取り壊された跡地が手付かずのままになっています。 ア すぐにでも出来る跡地活用は イ 今後の市営住宅のあり方について</p>
	3	国民健康保険について	<p>① 今年度、国民健康保険税の税率等が改定されました。 ア 改定の効果は イ 徴収対策は ウ 安定した運営のための、今後の改定についての考えは</p>
12. 二宮 由子 8月23日 9:16	1	子育て支援について	<p>① 東大和市次世代育成支援計画〔後期〕の実施状況について ア これまでの評価は イ 計画期間が平成26年度で終了となるが、「実施せず」や「一部着手」の事業等、目標達成に向けての取組みは ウ 「子育て支援条例」制定の検討状況は</p> <p>② 「子ども・子育て支援新制度」への移行に伴う、子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について ア 現状及び対応は イ 東大和市子ども・子育て支援会議の状況は</p>

			<p>ウ 多様な保育ニーズを把握するためのニーズ調査の実施は</p> <p>エ 保健・医療・教育・保育等の関係機関との連携、及びネットワークの構築は</p> <p>③ 時限立法である次世代育成支援対策推進法が終了した後の子育て支援に対する市の考え方について</p> <p>ア 東大和市次世代育成支援計画に盛り込まれている事業の継続性は</p> <p>④ 待機児解消の取り組みについて</p> <p>ア 現状及び対応は</p> <p>イ 待機児童解消加速化プランの活用は</p> <p>⑤ 今後の課題は</p>
13.尾崎 利一 8月23日 9:37	1	3市廃プラ施設の建設計画について	<p>周辺住民の理解を得られないまま、3市廃プラ施設建設を強行すべきではありません。</p> <p>① 6月議会以降の進捗状況について伺います。</p> <p>② 市の認識と対応について伺います。</p>
	2	警視庁未利用地など国有地、都有地、市有地の活用について。安心して子どもを産めるまちづくり、特養ホームの待機者ゼロ、認可保育園の待機児ゼロ、障害福祉事業者支援など暮らしと福祉優先のまちづくりのために	<p>① これまで警視庁の未利用地3万㎡の市民利用を繰り返し求めてきました。市の発展を阻害してきた米軍基地の返還後、さらに30年以上にわたって国と東京都が未利用のまま放置してきた土地です。国と東京都は東大和市民に謝罪して市民利用のために提供すべきです。前議会の一般質問では、消防団の訓練などの暫定利用についても取り組みを求めました。隣には警視庁の家族宿舍もあり、消防訓練については当然無償で使用させるべきものです。この未利用地の市民利用と暫定使用について、市の見解と取り組みを伺います。</p> <p>② 東大和市を含む北多摩西部保健医療圏には、新生児集中治療室(NICU)のベッドはひとつもありません。同圏域の年間出生数は4,600人、東大和市は約800人で、それぞれ14床、3床の新生児集中治療室のベッドが本来必要です。事が起きたら全部遠くの23区内のNICUに搬送されざるを得ないというのが現状です。安心して子どもを産み育てられる環境が危機的状況にあります。高齢者世帯での痛ましい死亡事例なども大きく報道されています。特別養護老人ホームや保育園の待機者・待機児も深刻な状況です。国有地や東京街道団地、向原団地の空地などの都有地の活用は市民にとって切羽詰った課題です。市の認識と取り組みについて伺います。</p> <p>③ 同じ観点から、市営住宅用地やみのり福祉園など市有地についても安易に売却すべきではありません。府中市などでは市の土地を福祉作業所などに無償で使用させています。これら市有地の活用について市の考えを伺います。</p>
	3	1997年以來の市民のくらしの実態と市の取り組み・負担増計画について	<p>① 市民の収入・所得の動向、税や社会保険料などの負担の動向、市内産業の動向などについて伺います。</p> <p>② 今年度の国保税値上げなどに対する市民の反応について伺います。国保税値上げは間違いでした。引き下げこそ必要です。</p>

			③ 今後の市民負担増の計画は市民の暮らしにどのような影響を与えると考えますか。市は負担増計画を取りやめるべきですが、いかがですか。
14. 佐竹 康彦 8月23日 9:44	1	図書館について	① 図書館の雑誌カバーの活用について ア 市内公共図書館の雑誌について a 年間購読数とその予算はどれくらいか。 b 雑誌の利用状況や継続購入の状況について イ 雑誌カバーに広告を掲載することで、予算を有効活用し市民サービスの向上を図ることを目指し、「雑誌スポンサー制度」を導入してはどうか。
	2	災害時の被災者救援体制について	① 災害時の被災者救援体制における市内各団体との連携・協定について ② 特に傷病者救援体制をより手厚いものとするため、市内の接骨師会と災害協定を結び協力体制をとることはどうか。
	3	平和事業について	① 戦争証言集について ア これまでの成果について イ 戦争経験者の高齢化が一段と進む中、代筆や映像での証言収録などより多角的な手法で証言を収集していくことをしてはどうか。
	4	昭島市の青果市場閉鎖に伴う市内小売業者及び農家への影響と今後の対策について	① 平成25年9月をもって閉鎖となる昭島市の青果市場について ア 市内で利用している小売業者及び農家の実態 イ 市場閉鎖に伴う影響と今後の対策
	5	市内中学校・高校の吹奏楽部の活動と市の活性化について	① 市内の中学校・高校の吹奏楽部が出演するイベントの開催について ア 市内中学校及び高校の吹奏楽部のレベルについて イ 当市及び他地域において、学校の吹奏楽部が出演するイベントの現状について ウ 市内の中学校・高校の吹奏楽部が出演する新たなイベントの開催で、当市の特色を内外にアピールすることができるかと考えるがどうか。
15. 中間 建二 8月23日 10:26	1	胃がんリスク検査について	① 今年度の実施状況について ア 市民への周知と応募状況はどうなっているか。 イ 700名の定員設定は適正であったか。 ウ 申込期間が短すぎるのではないか。 ② 次年度以降の実施について ア 今年度の状況から改善すべき点はあるか。 イ 継続して実施していく方針を示していただきたい。
	2	戦災建造物を活用した平和事業について	① 平和市民のつどいについて ア 過去9回の実施状況をどのように総括しているか。 イ 10回目を迎える来年度に向けて、どのように事業の充実に取り組んでいかれるのか。

	3	いじめ対策について	① いじめ防止対策推進法の制定を受けて、本市においてどのような取り組みを行っていかれるのか。
	4	ごみ処理事業について	① 家庭系廃棄物有料化方針について ア 素案についての市民意見をどのように総括しているか。 イ 缶、びん、ペットボトルは店頭回収を進めるとしているが、商工会との協力体制は調整がついているのか。 ウ 紙類、布類の収集は民間収集としているが、行政が回収する方法は全く必要がないのか。 ② 3市共同資源化施設建設について ア 地域住民の理解が得られていないにも関わらず、建設を進めることは、これまでの方針を一方的に変更したのか。 イ 施設の必要性が十分に理解されていない現状で、莫大な税金を投じて施設建設を進めることは将来に禍根を残すのではないのか。
16. 森田 真一 8月23日 11:28	1	生活保護基準の見直しと市民生活への影響について	① 8月より実施された生活保護基準の見直しは、市民生活に及ぼす影響について伺います。 ア 生活保護受給世帯へ影響は イ 見直しにより影響を受ける制度はどのようなものがあるか。またそれらを利用する市民への影響は ウ 市としてどのような対策をとるのか伺います。
	2	家庭ごみの減量推進と有料化方針について	① 家庭系廃棄物有料化方針が示されました。有料化によって市民に2億円ちかい負担がさらに課されるとされています。市民の暮らしは改善どころか厳しさを増しており、これ以上の負担を課すべきではありません。ごみの減量は、減量策の充実によってこそもたらされるものです。 ア 家庭系廃棄物有料化方針(素案)が策定され、各地で市民説明会が開催されました。各地の説明会の内容について伺います。 イ 減量のための施策について伺います。 ウ 家庭ごみの有料化方針について伺います。
17. 中村庄一郎 8月23日 11:55	1	都市整備基盤について	① 道路や橋梁の耐用年数について ② 防災や震災に対する考えの現状と今後の課題 ③ 都市マスタープラン見直しにおける現状と今後の課題
	2	観光行政について	① 2年が経過したが、経過と効果について ア 経済効果について(商業・工業・農業) イ 都や近隣市・町・村や商・工・農との連携について ウ 現在までの費用対効果と成果指数と目標値について
	3	東大和の教育について	① 学校経営の現状と今後の課題 ② 学校における学習環境と学力の現状と課題 ③ クラブ活動の推進と課題